

## 令和4年度 こころのケアシンポジウムの開催結果

兵庫県こころのケアセンターでは、こころのケアシンポジウムにおいて、「こころのケア」に関する先進的な事例等を情報発信しています。

令和4年度のシンポジウムでは、2018年に国際疾病分類における新たな診断基準として記載され、近年注目を集めている複雑性PTSDをテーマとして、研究報告、基調講演、パネルディスカッションを実施しました。

### 「こころのケア」シンポジウム ～複雑性 PTSD を考える～

- 1 日 時：令和4年12月14日（水）13:30～17:00
- 2 場 所：兵庫県こころのケアセンター大研修室及びオンライン配信
- 3 参加者数：約300人（医療・保健・福祉・教育関係、自治体職員など）
- 4 内 容：

#### 開会あいさつ

亀岡 智美 兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長

#### 研究報告

##### 「複雑性PTSDに対する認知行動療法（STAIR/Narrative Therapy）の効果－前後比較試験の結果を交えて－」

須賀 楓介 兵庫県こころのケアセンター 主任研究員

研究報告では、複雑性PTSD（CPTSD）の概要、治療の説明と研究結果についての報告があり、CPTSDの認知行動療法(STAIR-NT)では感情調整スキル、対人関係スキルを身に付けたのち、過去のトラウマ体験について繰り返し語ることで、恐怖感情が馴化し、体験の整理が可能になり、喪失を見つめる中で自己への思いやりや慈しみの心を持つことが可能になること、国立精神・神経医療研究センターとの共同研究として行われたSTAIR-NTのオープン前後比較試験の結果、同療法が本邦においても実施可能であり、症状改善効果があることが確認されたことについて報告されました。

#### 基調講演

##### 「複雑性PTSDの理解と支援

##### －日常臨床における我流・実践の紹介－

原田 誠一 原田メンタルクリニック・東京認知行動療法研究所 院長

39年間、精神科医として治療にあたり、一貫して複雑性PTSDとの関りが続いている現状や、今後複雑性PTSDへの関心が高まっていく中で、新しい治療法の導入が必要であるが、これまでの臨床の知を再考し、温故知新的な経験も必要かつ有効であると説明があり、複雑性PTSDの当事者と接する基礎知識、心理教育の実施や対応、当事者が自ら行う過去の外傷体験の整理について大変丁寧な報告がありました。

原田先生の追記：当日の講演では、個人精神療法の場における「複雑性PTSDの理解と支援」に関する私見を述べました。しかるに、聴講者の中に児童相談所のスタッフなどもおられたことをふまえると、暴力などが現にみられる現場での対応では、個人精神療法での原則とは異なる対応が必要不可欠となる事実、一言触れるべきであったと反省しています。興味をお持ちの方は、次の文献をご参照ください。

・田嶋誠一：多面的援助アプローチと複雑性PTSD－今そこで起こっている複雑性PTSDへの支援的介入という視点から、精神療法 47巻5号: 53－61, 2021

## パネルディスカッション

### テーマ：複雑性PTSD

(コーディネーター)

加藤 寛 兵庫県こころのケアセンター センター長

(パネリスト)

原田 誠一 原田メンタルクリニック・東京認知行動療法研究所 院長

亀岡 智美 兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長

須賀 楓介 兵庫県こころのケアセンター 主任研究員

### 閉会あいさつ

加藤 寛 兵庫県こころのケアセンター センター長

パネルディスカッションでは、まず複雑性PTSDの概念が普及していくことの功罪について取り上げました。虐待やDVなど反復されるトラウマを受けた人たちを理解し支援するために、概念が確立されたことの意義は大きいものの、出来事基準を満たさない場合や、他の精神疾患が併存する場合の対応を慎重にしなければならないなどの意見が出されました。その後、治療や支援においてこころがけていることを話し合い、控えめで当事者の求めているものに現実的な支援をすることの重要性が指摘されました。最後に支援者側が受ける代理受傷について、パネリスト自身の対処法を紹介してもらい、約50分のディスカッションを締めくくりました。



## 5 アンケート結果（会場、オンライン合計）

### (1) シンポジウムの開催は何で知りましたか

選択肢	構成比 (%)
チラシ	59.6
ホームページ	22.1
新聞	4.6
その他	12.2
無回答	1.5
計	100.0

### (2) 職種

選択肢	構成比 (%)
会社員	2.3
福祉職	27.5
保健医療職	29.8
教育職	6.1
行政	19.1
消防・警察	0.8
その他の職種	4.5
主婦	6.8
無職	3.1
計	100.0

### (3) 兵庫県内、県外

選択肢	構成比 (%)
県内	55.7
県外	43.5
無回答	0.8
計	100.0

### (4) シンポジウムの内容

#### ① 研究報告

選択肢	構成比 (%)
よかった・まあよかった	95.4
あまりよくなかった	2.3
無回答	2.3
計	100.0

#### ② 基調講演

選択肢	構成比 (%)
よかった・まあよかった	98.6
あまりよくなかった	0.7
無回答	0.7
計	100.0

#### ③ パネルディスカッション

選択肢	構成比 (%)
よかった・まあよかった	92.4
あまりよくなかった	3.0
無回答	4.6
計	100.0